

原子力システム安全工学研究室

卒業生の皆様、充実した毎日をお過ごしのことと存じます。当研究室は原子力発電所の安全性に関する研究を行っており、教員は河口宗道准教授、張承賢助教、学生は、博士課程2名(うち社会人博士が1名)、修士課程7名、学部生6名の計15名で構成されています。澤先生には引き続き高温ガス炉のご指導をいただいております。

研究テーマとしては、新型炉(高温ガス炉・ナトリウム冷却高速炉)や確率論的リスク評価など、原子力安全性に関する研究に取り組んでいます。さらに昨年からは、張助教がSMRの研究にも着手し、より幅広い分野をカバーする体制となりました。現在、研究室のホームページの更新作業を進めておりますので、ぜひ研究室名を検索してご覧ください。

北海道にお越しの際は、ぜひ研究室にお立ち寄りください。教員・学生一同お待ちしております。